

(様式第2号)

地域振興推進費事業計画・自己評価書 (実績)

令和4年3月23日

提出区分	実績	整理番号	15	課題区分	C	
横断的な課題	大規模地震・噴火・水害等の発生時における対策の充実・強化					
地域重点政策	新型コロナウイルス感染症対策の充実強化					
実施機関	松本空港管理事務所			担当	所属	松本空港管理事務所
事業名	松本空港自然災害・感染症対応能力向上事業			電話	0263-58-2517	
				E-mail	<a href="mailto:matsukuuko@pref.nagano.lg.jp">matsukuuko@pref.nagano.lg.jp</a>	
事業概要等	目的 (目指す姿)	誰もが安心して利用できる空港の体制確保				
	現状と課題	長野県の空の玄関口である松本空港は、緊急事態宣言地域(～9/12)である大阪府(伊丹空港)、兵庫県(神戸空港)、福岡県(福岡空港)とまん延防止等重点措置地域(～9/12)である北海道(新千歳空港、丘珠空港)と定期便、季節便で結ばれている。これまでも、ターミナルビル内の消毒、消毒液の設置、検温実施、啓発チラシ配布等を行っているが、さらにデジタルサイネージを活用し、特に県外空港利用者に対して、長野県としての新型コロナウイルス感染症対策の積極的な周知・協力の呼びかけを行う。				
	内容 (変更後の内容)	全国的に新型コロナウイルス感染症がまん延する状況の中、空港を利用する方に対して、新型コロナウイルス感染症に係る知事メッセージや「新型コロナ『デルタ株』と闘う県民共同宣言」等を、デジタルサイネージを活用して広報周知し、まん延防止等の対策への協力の呼びかけを行う。				
	事業期間	令和3年9月		～	令和4年3月	
事業費等	(単位:円)					
	事業を構成する細事業名等	実施内容	計画(実績)額	備考		
	新型コロナウイルス感染症対策PR事業	デジタルサイネージ購入	693,000	231,000円×3基		
	合計		693,000			
指標及び達成状況	成果指標		目標値	成果	達成状況	
	デジタルサイネージによる啓発実施期間		6ヶ月	4ヶ月	○ 達成	
					○ 一部達成	
					● 未達成	
事業実績・成果	デジタルサイネージ3基を11月17日に松本空港の到着ロビー、出発ロビー及び搭乗待合室に設置し、搭乗者を含めた空港利用者に対して、新型コロナウイルス感染症に係る啓発動画やお知らせ等を周知することができた。チラシやポスターといった媒体に比べ、音と動きがあるため足を止めて見てもらっている場面が多く見られたため、デジタルサイネージ設置によってより多くの空港利用者に長野県の新型コロナウイルス感染症に対する取組等を啓発、周知できたと考える。					
今後の方向性	今後も、関連する啓発動画等の周知を引き続き実施し、合わせて札幌、福岡、神戸等就航先の観光情報や長野県のPR動画等、空港利用者に資する動画等を配信予定					